

ヒマワリ
Helianthus annuum
 (キク科)

1年草で、肥料を抑えて栽培される。花色は黄、オレンジ、暗褐色で、花の大きさも様々であるが、あまり大きいものは切り花には向かない。花粉の出ない品種が育成されている。おおむね舌状花の花弁が開いた段階で収穫される。葉は収穫後急激に黄変・褐変するので、すべて取り除いてから利用することが多い。後処理剤の効果はあまり認められない。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
開花	A: 舌状花の花弁が完全に展開する B: 筒状花が半分程度開花する C: 筒状花が開花し終わる D: 筒状花部分が盛り上がる	
舌状花の萎れ	A: 萎れなし B: 先端が萎れる C: 萎れてしわが寄る D: 激しく萎れて萎縮する	
葉の黄変・褐変	A: 黄変なし B: 黄斑がみられる C: 黄斑が広がり、褐斑がみられる D: 褐斑が広がり壊死する	
花茎の曲がり・折れ	A: 直立する B: やや傾く C: 曲がる(45° 以内) D: 大きく曲がる(45° 以上)あるいは折れる	花序が大きいと曲がり、折れが発生しやすい。
その他	茎基部の腐り、D: 落弁など。	

2) 留意点

葉はできるだけ取り除く。

茎は収穫時点ですでに黄色いので、黄変については評価対象としない。

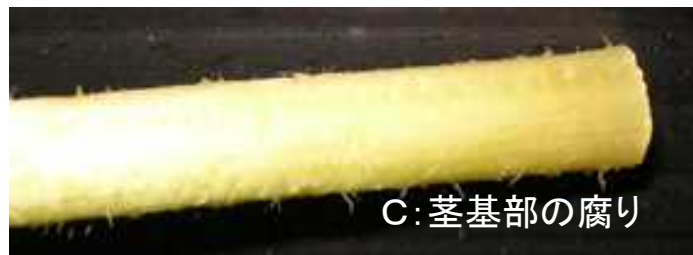
3) 開花



4) チェック事項



C: 葉の黄変・
褐変



C: 茎基部の腐り



D: 筒状花の
盛り上がり



D: 落弁



舌状花花弁の萎れ



花茎の曲がり・折れ